

2023/4~2023/6 にっしん景況レポート

2023/7

Vol.
29



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2023年4~6月の景気の現状と2023年7~9月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2023年4~6月の実績(6月については予想)
2023年7~9月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の360社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2023年4~6月
前期 = 2023年1~3月
前年同期 = 2022年4~6月
来期 = 2023年7~9月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	50	22	17	25	19	20
三木地区	55	17	11	6	8	9	4
神戸地区	152	24	24	17	40	24	23
業種合計	360	91	57	40	73	52	47

● 今期の景況

今期(2023年4月~6月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲6.4となり、前期(2023年1月~3月)に比べ8.3ポイント改善した。売上額判断D.I.は▲1.7となり、前期と比べて8.9ポイント改善した。収益判断D.I.は▲6.4となり、前期と比べて13.8ポイント改善した。

● 来期の見通し

来期(2023年7月~9月)の予想業況判断D.I.は▲5.0となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	7	74	175	83	21	360
回答割合	1.9%	20.6%	48.6%	23.1%	5.8%	100%

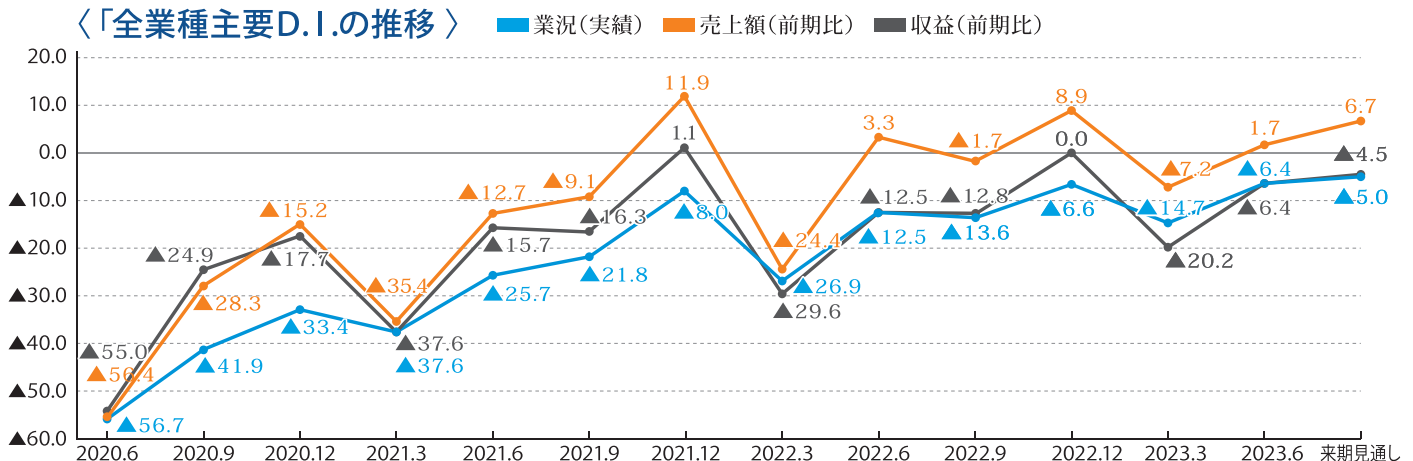
〈2023年4~6月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲ 5.2	▲ 28.0	9.1	▲ 5.9	0.0	15.8	10.0
三木地区	▲ 20.0	▲ 35.3	▲ 63.6	▲ 16.7	12.5	0.0	50.0
神戸地区	▲ 2.6	▲ 37.5	0.0	17.6	▲ 2.5	▲ 20.8	34.8
全地区	▲ 6.4	▲ 31.9	▲ 8.8	2.5	0.0	▲ 3.8	25.5

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 14.7	▲ 6.4	▲ 5.0	販売価格(前期比)	26.9	29.0	22.4
売上額(前期比)	▲ 7.2	1.7	6.7	仕入価格(前期比)	63.4	59.3	48.5
売上額(前年同期比)	1.7	7.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 9.4	▲ 9.4	▲ 9.5
収益(前期比)	▲ 20.2	▲ 6.4	▲ 4.5	人手不足(過剰-不足)	▲ 36.0	▲ 39.3	▲ 37.0
収益(前年同期比)	▲ 11.6	▲ 3.3	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲31.9となり、前期実績と比して8.8ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲18.7、収益判断D.I.は▲28.6となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は変わらないが収益判断D.I.は2.2ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲3.3、収益判断D.I.の前年同期比は▲14.3となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲22.0となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は3.3、予想収益判断D.I.は▲8.9となり、売上額は増加し、収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 23.1	▲ 31.9	▲ 22.0	販売価格(前期比)	30.8	23.3	20.0
売上額(前期比)	▲ 18.7	▲ 18.7	3.3	仕入価格(前期比)	62.6	47.8	42.2
売上額(前年同期比)	▲ 8.8	▲ 3.3	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 8.8	▲ 13.2	▲ 14.3
収益(前期比)	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 8.9	人手不足(過剰-不足)	▲ 33.3	▲ 34.4	▲ 29.7
収益(前年同期比)	▲ 24.2	▲ 14.3	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲8.8となり、前期実績と比して12.3ポイント改善した。

売上額判断D.I.は22.8、収益判断D.I.は8.8となり、前期実績と比してそれぞれ31.6ポイント、29.9ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は21.1、収益判断D.I.の前年同期比は5.3となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲5.3と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は19.3、予想収益判断D.I.は7.0となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 21.1	▲ 8.8	▲ 5.3	販売価格(前期比)	56.1	43.9	26.3
売上額(前期比)	▲ 8.8	22.8	19.3	仕入価格(前期比)	63.2	61.4	47.4
売上額(前年同期比)	15.8	21.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 15.8	▲ 12.3	▲ 8.8
収益(前期比)	▲ 21.1	8.8	7.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 19.6	▲ 28.1	▲ 26.3
収益(前年同期比)	▲ 15.8	5.3	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は2.5となり、前期実績と比して20.0ポイント改善した。

売上額判断D.I.は7.5、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ25.0ポイント、27.5ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲2.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲7.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲7.7となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲7.7、予想収益判断D.I.は▲15.4となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲17.5	2.5	▲7.7	販売価格(前期比)	37.5	35.0	35.9
売上額(前期比)	▲17.5	7.5	▲7.7	仕入価格(前期比)	60.0	72.5	61.5
売上額(前年同期比)	0.0	▲2.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲15.4	▲15.0	▲12.8
収益(前期比)	▲27.5	0.0	▲15.4	人手不足(過剰-不足)	▲27.5	▲30.0	▲28.2
収益(前年同期比)	▲10.0	▲7.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して11.0ポイント改善した。

売上額判断D.I.は11.0、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比してそれぞれ15.1ポイント、23.3ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は17.8、収益判断D.I.の前年同期比は5.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は8.2となり、業況は上昇すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は15.1、予想収益判断D.I.は▲2.7となり、売上額は増加し、収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲11.0	0.0	8.2	販売価格(前期比)	12.3	26.0	20.5
売上額(前期比)	▲4.1	11.0	15.1	仕入価格(前期比)	64.4	57.5	47.9
売上額(前年同期比)	16.4	17.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲20.5	▲12.3	▲12.3
収益(前期比)	▲23.3	0.0	▲2.7	人手不足(過剰-不足)	▲56.2	▲61.6	▲53.4
収益(前年同期比)	2.7	5.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲3.8となり、前期実績と比して5.6ポイント改善した。

売上額判断D.I.が▲9.6、収益判断D.I.が▲15.4となり、前期実績と比してそれぞれ3.9ポイント、0.3ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲3.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲11.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多かった。

資金繰り判断D.I.は▲5.8となり、前期実績と比してマイナスに転換した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲11.5となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲2.0、予想収益判断D.I.は▲13.7となり、売上額および収益は減少する見通しである企業の割合が多かった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 9.4	▲ 3.8	▲ 11.5	販売価格(前期比)	▲ 5.7	23.1	13.7
売上額(前期比)	▲ 5.7	▲ 9.6	▲ 2.0	仕入価格(前期比)	69.8	73.1	54.9
売上額(前年同期比)	▲ 7.5	▲ 3.8	—	資金繰り(楽-苦)	3.8	▲ 5.8	▲ 9.8
収益(前期比)	▲ 15.1	▲ 15.4	▲ 13.7	人手不足(過剰-不足)	▲ 52.8	▲ 55.8	▲ 60.0
収益(前年同期比)	▲ 11.3	▲ 11.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は25.5となり、前期実績と比して25.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.は8.5、収益判断D.I.は12.8となり、前期実績と比して売上額は10.6ポイント低下し、収益は6.4ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は19.1、収益判断D.I.の前年同期比は6.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多かった。

● 来期の見通し

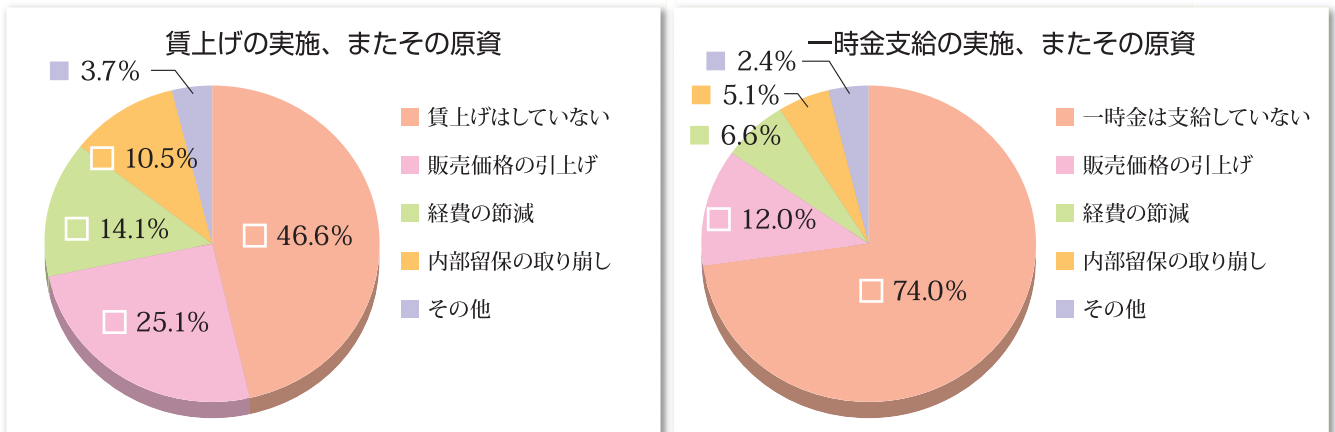
来期の予想業況判断D.I.は17.0となり、業況は上昇すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.および予想収益判断D.I.は6.4となり、売上額および収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	0.0	25.5	17.0	販売価格(前期比)	34.0	27.7	23.4
売上額(前期比)	19.1	8.5	6.4	仕入価格(前期比)	59.6	55.3	44.7
売上額(前年同期比)	▲ 6.4	19.1	—	資金繰り(楽-苦)	4.3	6.4	6.4
収益(前期比)	6.4	12.8	6.4	人手不足(過剰-不足)	▲ 17.4	▲ 17.0	▲ 21.3
収益(前年同期比)	▲ 6.4	6.4	—				

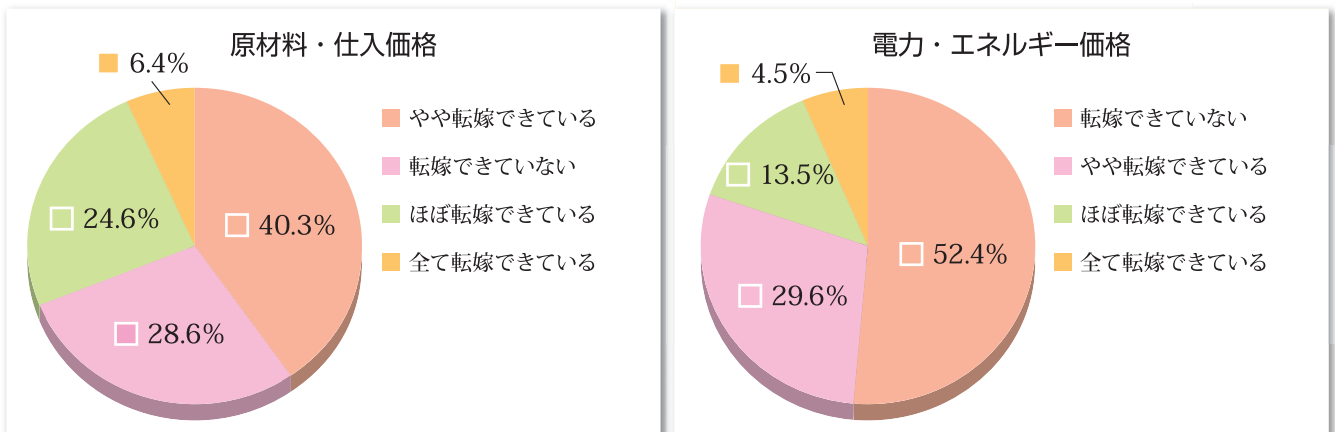
特別調査：「アフターコロナと中小企業」

◎ ～賃上げの実施もしくは一時金の支給状況、またその原資について～



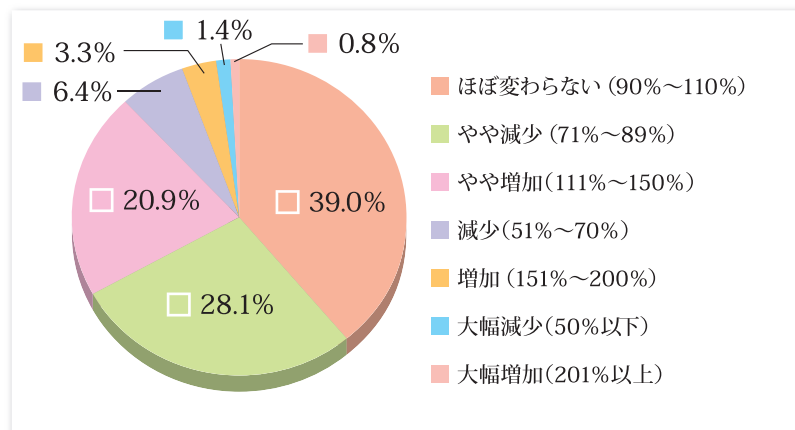
政府が企業に対して賃上げを要請している中で、賃上げの実施もしくは一時金の支給状況について、賃上げにおいては「賃上げはしていない(46.6%)」の回答数が最も多く、賃上げを実施した企業における原資については「販売価格の引上げ(25.1%)」、「経費の節減(14.1%)」、「内部留保の取り崩し(10.5%)」の順となった。また一時金の支給においては、「一時金は支給していない(74.0%)」が最も多く、一時金の支給ではなく、賃上げを実施した企業の割合が多い結果となった。

◎ ～原材料・仕入価格や電力・エネルギー価格の上昇について、販売価格に転嫁できていますか～



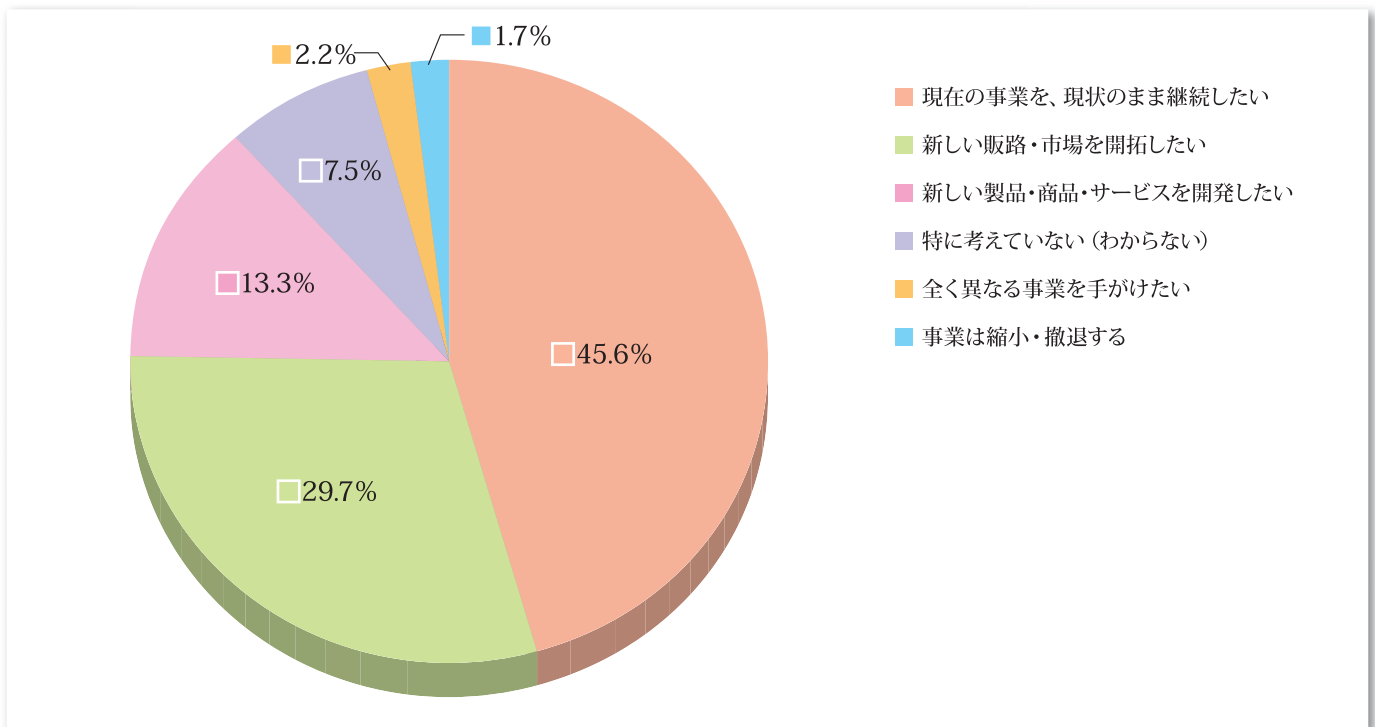
原材料・仕入価格の上昇について販売価格への転嫁状況については、「やや転嫁できている(40.3%)」の回答数が最も多く、「ほぼ転嫁できている(24.6%)」、「全て転嫁できている(6.4%)」と合わせて全体の7割以上が転嫁できていた。電力・エネルギー価格の上昇について販売価格への転嫁状況については、「転嫁できていない(52.4%)」の回答数が最も多く、転嫁できている企業と半々の割合となった。

◎ ～新型コロナウイルス感染拡大前(およそ3年前)と比べ、現在の売上はどの程度となっていますか～



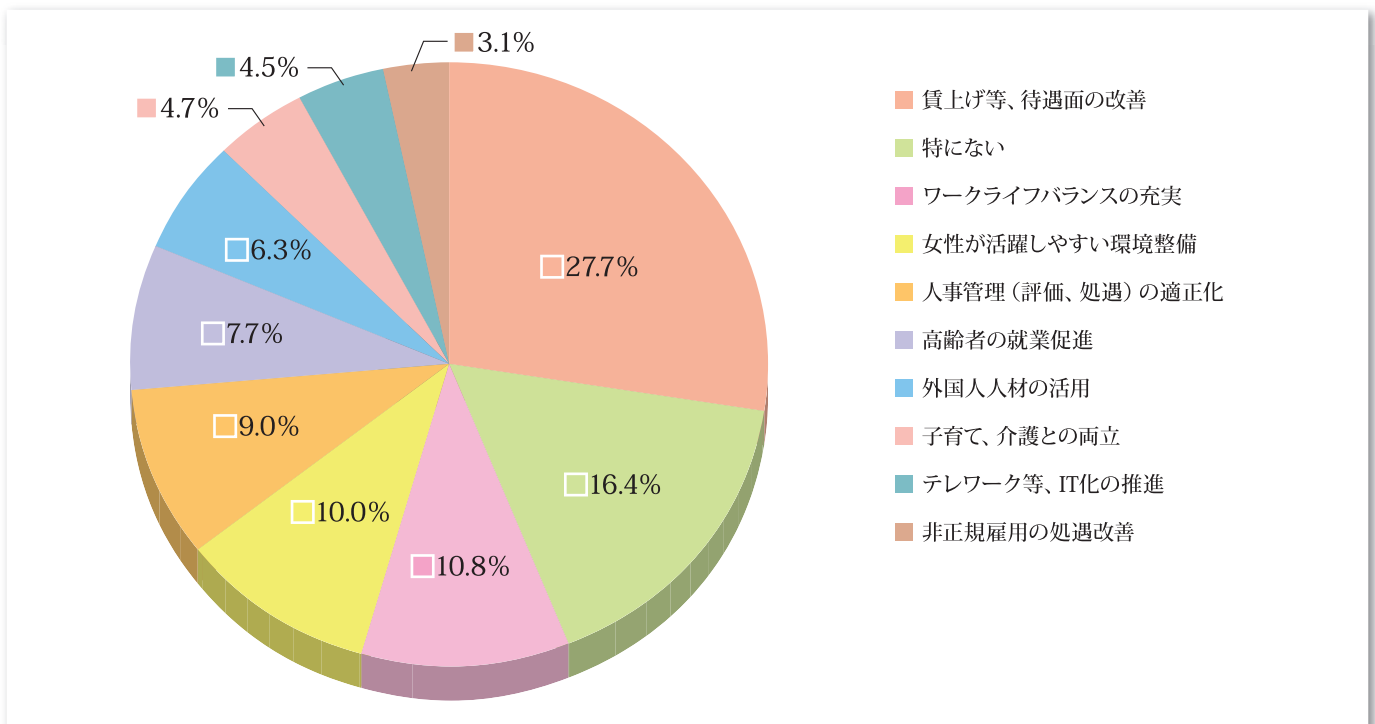
新型コロナウイルス感染拡大前と比べた売上について、「ほぼ変わらない(39.0%)」の回答数が最も多く、次いで「やや減少(28.1%)」、「やや増加(20.9%)」、「減少(6.4%)」、「増加(3.3%)」、「大幅減少(1.4%)」、「大幅増加(0.8%)」の順となった。

◎ ～3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいですか～



3～5年後に向けた、今後の事業展開については、「現在の事業を、現状のまま継続したい(45.6%)」が最も多く、次いで「新しい販路・市場を開拓したい(29.7%)」、「新しい製品・商品・サービスを開発したい(13.3%)」、「特に考えていない(7.5%)」、「全く異なる事業を手がけたい(2.2%)」、「事業は縮小・撤退する(1.7%)」の順となった。

◎ ～人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることについて～



人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることについては、「賃上げ等、待遇面の改善(27.7%)」が最も多く、次いで「特になし(16.4%)」、「ワークライフバランスの充実(10.8%)」、「女性が活躍しやすい環境整備(10.0%)」、「人事管理(評価、処遇)の適正化(9.0%)」、「高齢者の就業促進(7.7%)」、「外国人人材の活用(6.3%)」、「子育て、介護との両立(4.7%)」、「テレワーク等、IT化の促進(4.5%)」、「非正規雇用の処遇改善(3.1%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和5年 8月 5日(土)13:00～16:00
②令和5年 9月16日(土)13:00～16:00
③令和5年10月14日(土)13:00～16:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和5年 8月21日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 六甲支店
②令和5年 9月11日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 小野支店
③令和5年10月16日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 西明石支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3社(ご相談時間1組75分)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>

QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。




このたびは、第29回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで